戦争は絶対ダメ、2度とあんな思いは

終戦68年目に重い口が開く

原爆投下の8月6日・9日・15日の終戦の日と、8月は平和を思う日々となります。つらくて思い出したくない。墓場まで持って行くと、口を閉ざしていた方達も、今の安倍政権の「憲法変えて戦争できる国にする」という憲法改悪の話をすると、一様に「戦争はダメ、2度とあんな思いしたくない」と、お話してくださいました。聞き書き、お手紙をもとに掲載します。

今回は被害者の立場の方が主ですが、忘れてならないのは、加害者の立場であったことです。アジアの諸国は日本の動向に関心を持って見ています。人が人でなくなる戦争は「NO」を。

「B29」が落ちてきて

●昭和20年3月。確か3月10日の前だったと思います。当時池袋に居たのですが、爆撃を受けていました。そのとき、B29が落ちてきたのです。周りの人々が大騒ぎをしているので見に行くと、羽を広げた状態で炎上し、乗組員の兵隊の胴から上が折れて引きちぎられ燃えていました。下半身だけが残っていましたが、家を焼け出された日本人が、尿をかけたり、石を投げていました。悔しさ、憎しみがあったのでしょう。

また、担架に乗せられた日本人。亡骸をお寺に運ぶ途中だったのでしょう。鉄かぶとをかぶったまま、頭（顔）は燃えて見えませんでした。両腕は肩ぐらいまであげた状態のまま。全身まっくろ焦げでした。悲惨でしたね―。

姉が軍属で秘密書類をもって軽井沢に疎開していました。その姉に会いに行ったのが、8月15日。帰り道、玉音放送が聞こえたんです。「耐えがたきを耐え・・・」と。戦争は嫌です。人を傷つけるのは嫌です！

東深井Nさん（83才）

思い出したくない

●朝起きたら一面の焼け野原でした。

戦後、学校の友達は生きる為にパンパンに。自分もその道を行くのかと思ったとき、たまたま友達のお兄さんが戦地から戻ってきて「嫁にならないか」との話。間一髪のところで人生が変わった。淡々と語るその言葉に女性が戦争で受けた傷の重さを感じました。

●もう少し年長の方は言葉を発する事が出来ず「ごめんなさい思い出したくないし、話したくない」と。その言葉の後ろにある壮絶な経験を考えると、戦争がもたらした傷の大きさを考えてしまいます。介護ヘルパーさん

明日生きていたらね

●もう少し年長の方は言葉を発する事が出来ず「ごめんなさい思い出したくないし、話したくない」と。その言葉の後ろにある壮絶な経験を考えると、戦争がもたらした傷の大きさを考えてしまいます。介護ヘルパーさん

映画「渡されたバトン」を観て

過疎が進む新潟県巻町に降って湧いた朗報とどす黒い陰謀と。スクープによる原発計画が表面化。喜びに沸く推進派。四半世紀にわたる住民の闘いの中で10年後スリーマイル島、16年後チェルノブイリ原発事故、今回の福島の事故。粘り強く世論を動かし、巻町での原発建設を阻止したという輝かしい歴史の映画でした。

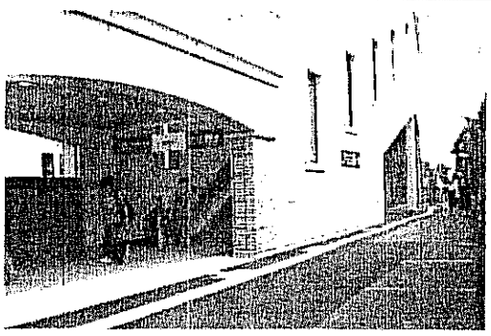
とはいえ原発事故の恐怖は今も昔も変わる事はない。現実問題としての汚染水垂れ流し、海への流出、遅々として進まない土壌の除染、住民置き去りでの再稼働、果ては海外への売り込み・・・等々。現政権は生存権への挑戦・憲法改悪・TPP推進。ますます右傾化の道を辿る政治を後世に引き継ぐわけには行かない。粘り強い反対運動や宣伝カーの活用などと共に様々な立場の人との協力・協同も視野に堅持し、闘っていく必要があるかなあと感じている。

江戸川台Sさん

○もらえるお金を多くしたくて原発に反対する住民。そんな場面に表された地元民の心の揺れ、考えてもみなかったなぁ。

こうのす台Nさん

運河駅新装！エレベーター助かる



運河駅の西口が完成した。利用者はエスカレーターやエレベーターができて「助かった」の声も。

東口の完成は12月頃とか。駐輪場の問題など、問題はまだまだあると思います。皆さんの声を聞いて、解決に取り組んで行こうと思います。ご意見ありましたらお知らせください。

編集部

（写真は運河駅西口駅前）

参議院選挙に思う

先の参議院選挙で大きく躍進しました。「ニュース」読者、多くの支持者の皆さんのご支援に感謝申し上げます。

私は30代で入党し、国政・自治体の選挙の度に関わってきました。選挙開票速報に自民・公明・民主の当確が映し出され、日本共産党がなかなか出てこない事など、悔しい思いが多くありましたが、今回久々に喜びを味わいました。選挙中に数々のエピソードがありました。一つだけ紹介します。

植田議員も頑張って「沖縄の友にも支持のメールしましたよ!!」と聞いたので、励まされ、沖縄の知人に電話をしました。ところが返事は「公明党に入れたよ。家内が創価学会なので」とのことでした。そこで米軍基地などの話をすると、「この次は入れるよ」と約束してくれました。

今度の選挙では前回と合わせて11人の国会議員団（参議院）を擁することになりました。まだまだ微々たる数ではありますが、日本共産党は創立91年を迎え、あの戦争にも命を掛けて反対してきた歴史もあります。議案提案権も得ました。消費税増税・社会保障改悪を許さず、憲法9条を守り、皆さんの暮らし守る政治にまい進していこうと思います。今後もよろしくお願い致します。

東深井　菊池伍郎

高校野球観戦記

千葉県大会決勝戦熱い涙

甲子園で高校野球が熱戦を繰り広げていますが、7月27日千葉県の高校野球決勝戦（木更津総合対習志野）を見に行ってきました。スタンドは観客でいっぱいでした。私はどちらも勝って欲しかったけど、入口で習志野高校の応援うちわをもらったので、習志野ベンチでの応援になりました。

試合は習志野が押していたのですが、逆転され、負けてしまいました。エラーもなく本当に決勝戦にふさわしい試合でした。

終わってみて、この選手達の家族は大変だったと思いました。私の子供も高校球児だったので、少し分かります。強いチームになると遠くまでの遠征試合や合宿での父兄のお世話など大変な苦労があったと思います。

試合後、ある父兄の方が人目をはばからず大泣きをしていたのを見て、久しぶりに私も胸が熱くなりました。

野球に対するチームの思いやそれを支える家族や地域の人達の応援など心が一つになれる高校野球は素晴らしいと思います。

石川

●私は東京神田で生まれました。女学校の時、昭和20年4月14日の空襲に逃げ惑い、空襲解除になって戻ってみると神保町交差点の広い道路の両側とも火の海、家は跡形もなく。こんな事が目の前で起こっている恐ろしさで足が震えました。

広島長崎に原爆が落とされてからは、自分もいつ死ぬか分からないので

後援会親睦バスハイク　10月26日（土）予定
行き先　震災被害を受けた旭市で交流したのち銚子へ
詳細は9月号でお知らせします。

あすなろ川柳

●幽霊も怖がるナチスの亡霊よ

●喜べぬ最高気温の日本新

●猛暑禍をチャンスと狙う再稼働

お友達と別れるとき、「明日生きていたらね」とサヨナラしたことを思い出します。終戦になって空襲が無くなり、電灯を明るく灯した夜のことは忘れません。

江戸川台　Yさん